

# 福井県立こども歴史文化館(1/2)

## こどもも大人も楽しめる マルチ・ミュージアム

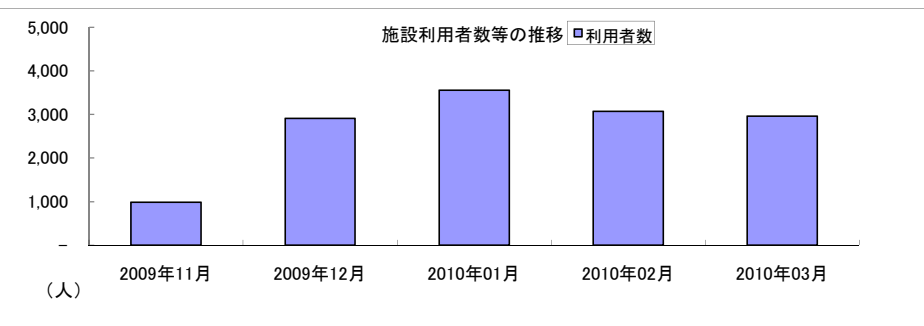
所在地	福井市城東1丁目18番21号		
設置年月日	平成21年11月1日(平成21年11月28日開館)		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	旧県立図書館の有効活用を図るため、本県の子どもたちが、福井の歴史、福井の先人、白川静・南部陽一郎両博士の業績を学ぶ拠点を目指す。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、延床面積4,947.3㎡ 展示室(先人・達人・特集ひろば、科学・漢字ワールド、どきどきルーム)、しらべルーム、交流ひろば		
職員数	職員4人 非常勤嘱託職員3人 アルバイト5人 計12人		

### 利用状況等

	2009年11月	2009年12月	2010年1月	2010年2月	2010年3月	2009年度累計
利用者数(人)	985	2,908	3,558	3,074	2,962	13,487

### 利用者負担(利用料金)等

入館料	無料
-----	----



利用状況の推移	平成21年6月から展示工事に入って、同11月28日にオープンしました。当初は、年間一万人の利用者を見込んでいましたが、約3か月後の平成21年2月末に入館者一万人を達成して、予想を大きく上回る方々に利用いただきました。
---------	--

### 施設の特徴

福井県にゆかりのある人物の紹介を通して、福井の歴史と文化に親しむことを目的に開設された施設です。こども向けの博物館として、楽しく分かりやすい展示に心がけています。

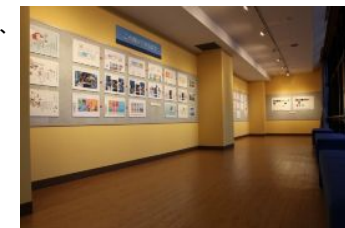
展示事業では、常設展示として、福井県にゆかりのある歴史人物「先人」、伝統工芸士やスポーツ選手など現在活躍中の「達人」に加えて、ノーベル物理学賞を受賞した南部陽一郎博士、漢字研究の第一人者であった白川静博士について紹介しています。さらに、これらの人物に関連する資料をあわせて展示しています。

また、年3回の特集展示を中心に、「特集ひろば」や「みんなのギャラリー」などでの短期間のテーマ展示を行っています。



開館記念特集展示「南部・白川両博士が育ったころの福井」

普及事業では、福井の先人や達人に関連づけたワークショップ、また白川文字学、さらに南部博士にちなんだ科学関係のワークショップを開いています。また、他機関と協力連携して、こどもを対象にした教育普及事業の開催にも取り組んでいます。さらに、「しらべルーム」を中心に、関連図書やパンフレットなどのほか、コンピューターデータを通じた情報の提供に心がけています。



みんなのギャラリー「この館ができるまで」



手づくり科学おもちゃ教室



書き初め会&カルタあそび



書き初め会&カルタあそび

### ・フレンドリーバスの運行

県立こども歴史文化館と福井駅の間を2ルート、60分間隔で運行しています。無料で利用できます。

<http://info.pref.fukui.jp/koreki/index.html>

### 平成21年度の特徴について

事業実績	平成21年6月から展示工事に入って、同11月28日にオープンしました。これと併せて「南部・白川両博士が育ったころの福井」と題する特集展示を開催しました。当初は、年間一万人の利用者を見込んでいましたが、約3か月後の平成22年2月末に入館者一万人を達成して、予想を大きく上回る方々に利用いただきました。展示会場のなかでは、白川静漢字ワールドの「漢字ファンタジア」、南部陽一郎科学ワールドの「素粒子3Dシアター」が、子どもたちを中心に人気を呼びました。
------	---

# 福井県立子ども歴史文化館(2/2)

## 行政コスト計算書(平成21年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	41,962	44.2%	—
	退職給与引当金繰入	31,148	32.8%	—
	賞与引当金繰入	0	0.0%	—
	計	73,110	77.0%	—
物にかかるコスト	物件費	17,287	18.2%	—
	維持補修費	901	0.9%	—
	減価償却費	3,627	3.8%	—
	計	21,815	22.9%	—
その他	支払利息	0	0.0%	—
	その他	37	0.1%	—
	計	37	0.1%	—
合計		94,962	100.0%	—
収入	利用料等収入	0	0.0%	—
	一般財源	94,962	100.0%	—

## バランスシート(平成22年3月31日現在) (単位 千円)

借方		貸方	
資産	前年比	負債	前年比
有形固定資産	307,094	固定負債	31,148
うち土地	129,389	うち起債残高	0
うち建物	177,705	うち退職手当引当金	31,148
うち資料	—		—
投資等	0	流動負債	0
流動資産	0	純資産	275,946
計	307,094	計	307,094

## 主な指標 (単位: %、円/人)

	H21	H20	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	379	0	—
県民1人あたり将来負担額	38	0	—
世代間負担率	89.9	—	—

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>旧県立図書館の有効利用を図るため、平成21年11月1日に設置され、同月28日開館した新しい施設です。施設の改修工事と展示工事に約6億円をかけて整備しました。</p> <p>資産は建物が約7割、土地が約3割を占めており、県民1人あたりの有形固定資産額は1,300円と、他の社会教育施設に比べ低い水準になっています。</p> <p>また、人件費が約7割、物件費が約3割となっています。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>管理部門 施設の維持管理 【H22予算額: 約55百万円】</p> <p>事業部門 先人・達人 普及事業 … 各種イベントの開催や出前教室の開催、貸出キットの開発 【H22予算額: 約4.5百万円】 先人・達人 発掘事業(調査研究) … 未開拓の先人や達人に関する人物情報の調査研究 【H22予算額: 約1.1百万円】 先人・達人 資料収集事業 … 実物資料の購入やレプリカの作成、資料の補修など 【H22予算額: 約6.7百万円】 先人・達人 特集事業 … 福井ゆかりの人物を取り上げた「企画展」の開催など 【H22予算額: 約5.9百万円】</p>
今後の課題	<p>現在、常設展示のなかで、85名(先人54名、達人29名、白川・南部博士)の人物を紹介していますが、将来的には、この数を100名以上にしたいと考えています。それにともない、展示スペースと展示ケースの拡充が必要となり、とくに一階エントランス周辺の展示場としての再整備が課題になります。</p> <p>団体利用がない平日の利用が低調なため、今後は、さらに広報活動を拡大して一般(大人、高齢者)の利用促進をはかりたいと考えています。</p>
今後の事業方針 取組み内容	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福井ゆかりの人物の発掘、調査研究プロジェクト             <ol style="list-style-type: none"> <li>①現在、展示している人物および未発掘の人物の調査研究をすすめて、毎年3回開催予定の特集展示を中心に、その普及をはかります。また、その成果をもって常設展示の追加更新や情報検索コーナーの充実にあてます。</li> <li>②さらに調査研究を行った人物を中心とする解説本(冊子)やDVDなどを制作して、情報発信の向上をはかります。また人物ゆかりの資料の収集をすすめて、展示に供してゆきます。</li> </ol> </li> <li>展示環境の整備、拡充プロジェクト             <ol style="list-style-type: none"> <li>①今後の展示人物および展示品の追加更新を目標に、空きスペース(おもに一階のエントランスの周辺)を整備して、展示空間の拡充をはかります。</li> <li>②また、大きな資料を展示・紹介するための搬入口の拡大、展示ケースの整備もすすめます。</li> </ol> </li> <li>県内小学校児童の活用促進プロジェクト             <ol style="list-style-type: none"> <li>①施設のPRや行事案内を徹底するように、学校に向いての広報活動(出前教室を含む)を盛んに行い、県内全小学校児童に案内パンフレットを配布します。</li> <li>②学校による団体利用の促進、遠隔地小学校の便宜をはかるため、送迎バスの運行を拡充してゆきます。</li> </ol> </li> </ul>

県民1人あたりのコスト負担の状況(円)

